

令和5年度「昭島市食育シンポジウム」の実施結果について

- 1 実施日時 令和6年1月25日（木）午後2時～午後3時30分
- 2 会 場 昭島市役所 市民ホール
- 3 テ ー マ 「和食～伝統的な食文化の継承を考える～」
- 4 実施内容
 - ＜第一部＞ 基調講演 「『和食』の可能性と食育活動の役割」
横田 功氏
一般社団法人 和食文化国民会議 常任理事
 - ＜第二部＞ 事例紹介
・ 拝島第一小学校 第5学年の取組 ～ライスプロジェクト～
- 5 参 加 者 35名
- 6 アンケート結果

（1）食育シンポジウムはいかがでしたか。

とても良かった	79.2%
良かった	20.8%
あまり良くなかった	0%
良くなかった	0%

（2）和食文化の継承を進めていく上でどのようなことが大切だと思いましたか。（複数可）

	人 数	%
学校での食育の取組	20	76.9
家庭における取組	20	76.9
地域と連携して伝統行事に親しむこと	7	26.9
学校給食での和食の提供	17	65.4
幼少期から出汁の味に親しむこと	17	65.4
外部団体の取組	1	3.8
その他	2	7.7

(3) 食育シンポジウム全体についての御意見等（抜粋）

・農業者がいて田もある昭島ならではの食育だったと思う。コンパクトによくまとまっていた。梨農家にもフォーカスしてほしい。

・家庭の格差を補うのは公教育だと思います。学校での取り組み、授業で取り込む必要があると感じました。ありがとうございました！

・特に小さい頃の食事が大切だと感じます。濃い味、塩分等の食事に慣れてしまうと、大人になってからの味覚は、薄味やだしのよさを感じにくくなると思います。大切なお話しをありがとうございました。

・昭島には「米」について農家や地域の方と関わって学ぶ機会があるということを初めて知り、東京の中心でも！というおどろきがありました。貴重で大切にしていきたいことのひとつです。

・小学生の発表、とても良かったです。和食のご講演も勉強になりました。（同意見2件）

・ありがとうございました。食品ロスの問題は、本校にとって課題であると考えています。給食の配膳についても、始めから少なめに盛ることや「もったいないからおかわりしよう。」という意識をもっと持たせたいです。

・地産地消にしっかり取り組みたいと思いました。食料自給率を上げていきたいです。

・学校の子どもたちの事例紹介を行い、子どもたちが食育への関心を広げる機会としていることはとてもいい取り組みだと思いました。講師の先生の講評も大変わかりやすく温かく、子どもたちの励みになるものと思います。

・最新の情報を得られたこと大変勉強になりました。学校現場・家でも、舌で学ぶことの大切さを教えたいと思います。

・学校での食育の取組は、今後も続けてほしいと思いました。

・食育について講師から学ぶ機会も大切ですし、子どもたちの生きた食育の様子にも感動しました。

・講師の方の話がとても興味深く、勉強になりました。拝一小の児童の発表も1年の学習がわかりやすくまとめてあり、とても良かったです。

・身体にも、環境にも良い「和食」の大切さ、すばらしさを再認識しました。しっかり継承していきたいと思いました。

以上